

環境と健康

112の優秀な作品を選定



環境と健康のポスター・ 標語コンクール

多くの作品の中から
選考委員がポスター
(上)、標語(右)
を審査



「環境と健康のポスター・
標語コンクール」は、
今年度から広島県、広
島県教育委員会、広島
県環境保全公社と共催
し、広島県医師会、広
島県歯科医師会、広島
県薬剤師会の後援で実
施しています。

今年度は24市町公衛
協の呼びかけに、小学
校217校、中学校52
校が参加し、3万6千
780点の応募があり
ました。

その中から、公衛協
が行った1次選考で選ば
れた724点の作品を
10月8日に開催した「令
和元年度環境と健康の
ポスター・標語コンク
ール選考委員会」で11人
の選考委員が選考要領
に則って厳正に選考を行
い、112点(ポスター
51点・標語61点)の優
秀な作品が選ばれました。
受賞した作品は11月

21日に府中市で開催す
る第60回広島県公衆衛
生大会の席上で、賞状、
トロフィー、副賞の贈呈
を行います。また、会
場内には大会参加者が
観覧できるよう、受賞
作品の展示を行います。
受賞作品の二覧は、「環
境と健康」の号外とし
ても大会の参加者や関
係の方々に配布いたしま
すので、ご覧ください。

その後、応募作品は、
各公衛協が住民への啓発
として、作品の展示会
イベントでの表彰式の開
催、公衛協だより・市
町広報誌への掲載、啓発
グッズの作成・配布など
活用していきます。



安芸太田町公衛協が実施している不法投棄防止の取り組み

新たな全県共通事業へ

不法投棄防止 口腔保健 をテーマに試行

ここ数年、実施から10年を迎える全県共通事
業重点メニューの刷新について代表者会議で議論
し、地域課題の解決につながる取り組みの研究・
提案を行ってきました。
今年度、複数の公衛協に協力いただいて、2
つの事業の取り組みを始めましたのでお知らせし
ます。

地域活動支援センタ
ーは、地区衛生組織代
表者会議の運営や全県
共通事業重点メニューの
推進などを通じて、公
衛協を主体とした健康
づくり・環境づくりを
支援しています。

め、環保協からノウハ
ウや資材を提供する取
り組みで、今年度は、
1万人のエンジニアック事
業や公衛協発・ウォー
キング事業など5つを実
施しています。

新たな取り組みとし
て2つの事業を紹介しま
す。

○見えますよ！不法投
棄抑止の地域づくり事
業

これまで不法投棄
防止パトロールや啓発
活動、清掃活動などを
実施してきましたが、
依然として悪質な不法
投棄やポイ捨ての改善
がみられない地点もあ
ります。本事業では、
これまでの活動に加え、
監視カメラやセンサーラ
イト・看板を設置する
ことで、不法投棄を抑
止する効果を検証しま
す。

○歯と口腔から始める
健康生活事業

健康で生涯にわたる
「生活の質(QOL)」の
維持向上のため、歯と
口腔に関する知識を持
つ推進委員を育成し、
口腔ケアの方法や必要
性などの啓発を通じて、
歯科検診の受診率向上
に取り組めます。県内
の歯科健診受診率は67・
7%(60歳代)で、県
が目標とする80%以上
に達していないことか
ら、受診率向上に向け
た学習会を県内各地で
開催し、推進委員をは
じめ多くの方に歯と口
腔に対する意識向上を
図り、受診率80%を目
指します。

さんせんか 琴線歌

私達の身の回りの金属製品
は、鉄鉱石をはじめとし
た鉱石が原料として使用
されています。この鉄鉱
石から鉄を取り出し、純
度を高め、必要な材料にすることを
精錬といいます。この時に、「スラグ」
と呼ばれる産業副産物が大量に発生
していることを存じでしょうか。ス
ラグは、高炉で
鉄鉱石を融解す
る際に発生する
高炉スラグと、
生石灰などの副
原料を加えて粘り強い鋼に精錬する
際に発生する転炉スラグに大別され
ます。▼産業副産物の転炉スラグは、
路盤材、土木用材、地盤改良材など
の建設材料として利用されています。
しかし、転炉スラグに含まれる遊離
酸化カルシウムや遊離酸化マグネシ
ウムは、水と接触すると水酸化カル
シウムと水酸化マグネシウムになりま
す。この反応過程で体積膨張が起こ

転炉スラグの利材化

り、その影響で構造物にひび割れや
ゆがみなどが生じるため、有効利用
の妨げとなっています▼現在、転炉ス
ラグは建設材料として利用されてい
ますが、遊離酸化カルシウムや遊離
酸化マグネシウムの少ない転炉スラグ
を選別し、さらに蒸気エージング処
理により水和反応をはやめて利用し
ています。しかし、蒸気エージング
を行っても、全
ての酸化カルシ
ウムと酸化マグ
ネシウムを取り
除くことは、避
けられないのが実態です▼転炉スラグ
の膨張問題を払拭することができれ
ば、より多くの転炉スラグを路盤材
や人工石等に有効利用することが可
能となり、転炉スラグの利材化に貢
献できます。また、資源を有効利用
することは、循環型社会を構築する
うえで重要な役割をはたすものと考
えられて、研究に取り組まれています。
(福山大学 工学部教授 田辺和康)



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索

基本
理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。



中国四国ブロック・地球温暖化防止活動推進員合同研修会

持続可能な地域づくりを伝え広げる

取材・記事作成をレッスン



取材の心得についてレクチャーを受ける

ンスで研修のゴールを確認し、次いで、参加者が持ち寄った新聞などの切り抜きで地域の活動を紹介しました。地球温暖化をキーワードにして持ち寄った切り抜きでしたが、介護や福祉、健康、防災、獣害、スポーツ、AIテクノロジー、こどもの居場所など、さまざまな分野の記事が集まりました。

9月5日・6日の2日間、松江駅前の松江勤労者総合福祉センター(愛称、松江デルサ)に中国四国ブロックの地球温暖化防止活動推進員と地球温暖化防止活動推進センター職員74人が参集し、合同研修会を開催しました。広島県からは、8人の推進員が参加しました。

今回は、推進員それぞれが持続可能な地域づくりを伝え広げる人となるために、地域事例を発掘し、伝えることができる力(情報発信力)を培うことを目的とし、さまざまな取り組みに触れ、知り、学び、推進員の交流を通じて、活動の刷新を

目指しました。参加者は、接点のない他県の推進員が6人でグループを作って、全体会とワークショップを繰り返しました。開会式に続くガイダ

ミニレクチャー①は、ファシリテーターの森高一さんから「SDGsと地域循環共生圏、低炭素社会づくり」をテーマに最新情報を学びました。「地域循環共

生圏」では、低炭素社会づくりをはじめとする、さまざまな持続可能な社会づくりの取り組みが相互につながっていること、親和性の高い取り組みが連携を強化してさらに発展できることを学びまし

た。ミニレクチャー②は、山陰中央新報社の清水由紀子さんから「新聞記者が取材・インタビュー・記事を書く時にしていること」と題して、取材の心構えと準備、インタビューで注意すること、記事を書く際に大事にしていることなど、経験を交えて分かりやすく紹介していただきました。

取材のときは事前に情報を集めて的確な質問に努めること、インタビューでは印象に残ることはできるだけメモすること、そして、もっとも大切なのは「この記者になら話してもよい、伝えたい!」と思わせる人間力を磨くことだということです。

この後、「伝えるための準備運動、聞く力、拾う力を試してみよう」というワークショップを実施。

瀬戸内海的环境保全について考える

多様な主体で研究や交流広がる

●瀬戸内海研究フォーラム in 広島

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会が主催して、9月5日～6日に広島市西区民文化センターで「瀬戸内海における持続可能な開発目標(SDGs)に向けた里水と里海の連携」と題したフォーラムが開催されました。

貧栄養化の管理について、藻場・干潟の未来について、里水と里海の連携についての3つのセッションで発表と討論が、また58件のポスター発表が行われました。ポスター発表には、当協会から「東広島市における市民参加の里海づくりの取り組み」を報告しました。

フォーラムでは、瀬戸内海のきれいとゆたかについて、藻場や干潟の役割、森里川海のつながりなどについて多方面からの研究報告がなされ、瀬戸内海の現状と、これからの在り方について多様な視点で意見交流する場となりました。

●瀬戸内海環境保全地区組織会議

瀬戸内海環境保全地区組織会議は、9月27日に山口市で「瀬戸内海的环境保全に関する衛生団体合同研修会」を開催し、瀬戸内海の沿岸の府県市で活動する住民団体のリーダー約100人が参加しました。この研修会は、瀬戸内海的环境について考え、住民でできる環境保全対策を推進していくことをねらいに毎年開催しています。

当日は、新山口駅前の会場で、山口県知事の



堂々川ホテル同好会の土肥氏

村岡嗣政様からご祝辞をいただき、活動功労者(団体)表彰、講演、体験交流・意見交流を行いました。

今年度の活動功労者(団体)表彰は、山口県、広島県、北九州市から4団体が表彰され、広島県からは、福山市で堂々川周辺の環境整備を行っている『堂々川ホテル同好会』が表彰されました。

講演は、放送大学岡山学習センターの磯部作先生が「瀬戸内海の家ゴミ問題の状況と解決への課題」と題し、海ごみの現状、原因など分かりやすくお話してくださいました。

その後、体験交流・意見交流は、表彰を受けた4団体が日ごろの活動などについて発表し、参加者からの質問に答えました。

来年度は、福岡県で開催を予定しています。

(地域活動支援センター)



作成した記事をお互いに確認して評価

ツプを実施し、二人組になって互いに活動や人物像を聞き出すトレーニングを行いました。

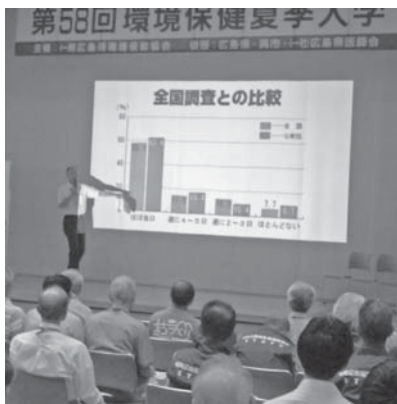
「相手をもっと知りた」という思いと意思表示、「お互いに共感できる箇所は何か」

という接点を見つける「コミュニケーションを体験しました。インタビューした推進員の紹介記事を作成する前に、清水さんからミニレクチャー③「記事を書くこと」のお話を聞きました。記事になるのは、「知ってほしいこと、知らせたいこと」で「インタビューで喜怒哀楽を感じたこと」です。新聞記事で、見出しと前段で要点を伝え、後段で解説

するよう構成します。ここでも、作文の上手下手より「伝えたい気持ち」が大事とのこと。その後、取材しあつた推進員活動を記事にまとめ、指定の原稿用紙に流し込み、関係するSDGsの項目を選択して完成としました。出来あがった原稿は、会場の壁に張り出して全体発表会を行いました。メモ用紙を片手に原稿を見て歩き、見出しや記事の良い点

を書きだして貼り付けました。最後にグループごとに研修の振り返りを行い、全体会でグループで話したことを披露しあつて解散しました。作成した紹介記事は各県センターが持ち帰り、参加した推進員と協働して推敲を進め、中国四国ブロックの推進員活動事例集に仕上げる予定です。

(地域活動支援センター)



環境保健夏季大会で成果を速報

今年度は、昨年度より154枚多い3千938枚のカードが提出されました。今回は記録の分析結果を報告

二つ目の目標である、実践率50%を達成した公衛協は、全26公衛協中11公衛協で、昨年度の13公衛協から2公衛協減少しま

したが、全県の実践率は43.3%で昨年度の7%と比較すると1.6ポイント上回りまし

～令和元年度1万人の食チェック事業～ 食物繊維とバランスがポイント 昨年を上回る 3,938 人の推進委員が参加

します。

この事業は、①主食・主菜・副菜を組み合わせ、ほぼ毎日食べている人の割合を70%以上(以下、「バランスのよい食事」とする)②全県で実践率50%の2つの目標を掲げて実践し、6月13日から19日までの1週間に摂取した食品を記録してもらいました。

二つ目の目標である、バランスのよい食事を取っている人の割合は62.3%で、昨年度より0.1ポイント減少し目標の7割にとどきませんでした。

しかし、平成29年度広島県民健康意識調査の60.0%や、全国調査の58.6%よりも高く、推進委員の皆さんはバランスの取れた食事を摂取され、健康に対する意識が高いと言えます。

管理栄養士からの食生活見直しのポイント

◆食物繊維の摂取

今回の調査で毎食野菜を食べている人は791人(20.1%)で、昨年度と比較すると変化は見られませんでした。野菜を食べた頻度が1週間で0.13回と改善が望まれる人は、今年度1千127人(28.6%)で、昨年度の1千035人(27.4%)から少し

増えました(図1参照)。果物の摂取は週7回と回答した人が最も多

い傾向は変わりませんが、6回以下の人はいずが、年同様45.7%みられます。また、0回と回答した人は9.0%から10.6%に上昇して

います。

副菜を食べた回数で見ると、毎食食べている人は朝食が48.8%、昼食が51.0%、夕食が74.4%でした。朝食・昼食は単品物が多い傾向でしょうか。麺や丼物の時にも1品副菜を添えるようにしましょう(図2参照)。

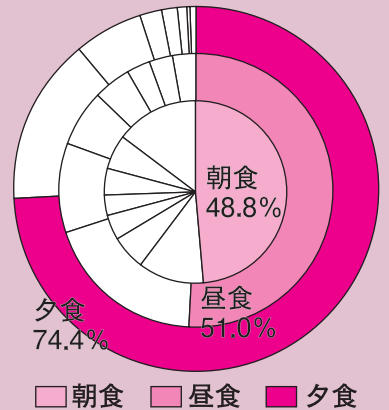
腸内細菌の多様性を高めると健康維持につながるといわれています。そのためには毎食野菜を食べ、1日1回、果物・きのこ類・海藻

類・大豆製品などの食物繊維をとる必要があります。

◆バランスの良い食事

今日の食事の配分は朝食・昼・夕食が4:3:3のカロリー摂取が理想とされ、朝食を充実させることが大切と言われています。

図2 毎食(朝・昼・晩)副菜を食べている割合



また(図3参照)。夜型の食生活は生活習慣病の原因となりやすいので注意が必要です。朝食、昼食を充実させ、せめて昼食と夕食の量は同程度となるようにしましょう。

◆食育の輪を家庭から地域へ

食生活や栄養に関する健康情報があふれる現代社会ですが、大切なことは実践です。主食、主菜、副菜のそろった食事をすることはバランスのよい食生活の基本です。「あと一品」の意識を持って日々の食事を整え、健康長寿を目指しましょう。そして食育の輪を家庭から地域へと広げていきましょう。

海岸のごみを清掃・調査

陸・川・海はつながっている

尾道市公衆衛生推進協議会は、令和元年度「環境と健康のミニ

活用して、海洋プラスチック汚染問題啓発事業に取り組んでいま

作成をねらいとして、9月13日に尾道市向島町の海岸約150mを、尾道市立栗原北小学校5年生児童47人と

向島地区および栗原地区の公衆衛生推進協議会役員20人で、海岸に漂着したごみの回収とプラスチックごみの実態調査を行いました。

また、海岸の砂をよく見ると、小さく砕け

た赤色や緑色のプラスチックがあるのが分かりました。

プラスチックごみは小さく砕けても、決してなくなり、海の生物が間違つて食べて死んでしまつことや食物連鎖の頂点である人間にも影響があること、5リットルより小さいプラスチックごみをマイク

ロプラスチックと云い、世界中に広まっている環境問題であることを学びました。

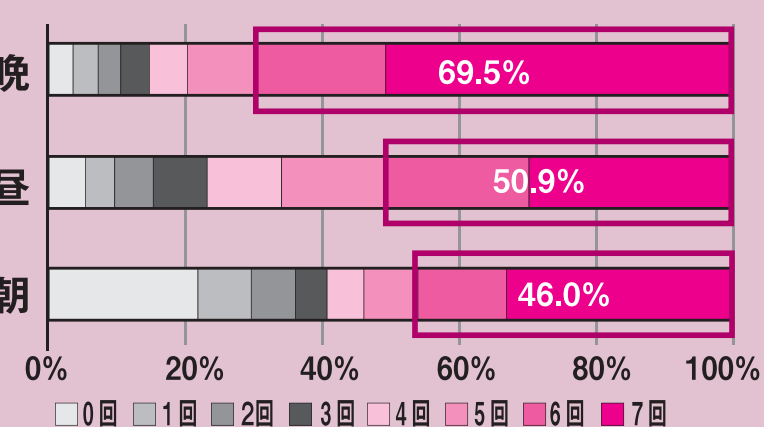
軽量のプラスチックごみが、海辺でのポイント捨てのみならず、陸・川・海とつながる生活空間のどこで投棄されても、海洋へ流出する可能性があるので、みんなに知ってもらいたいと、尾道市公衆衛生推進協議会 信長会長は話されていました。

(地域活動支援センター)



海岸の清掃を行なう参加者(上)、分別し、ごみの実態について学ぶ(下)。

図3 朝・昼・晩の食事をバランスよく食べた回数



平成30年6月、改正食品衛生法が公布され、食品事業関係者にHACCPの導入が義務付けられます。当協会は、HACCP導入支援を行っています。

このシリーズでは、当協会が支援した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。

続・一歩先行く 衛生管理 HACCP チャレンジ事業



⑮ 株式会社 やまだ屋

登録日:2017年3月11日
所在地:廿日市市宮島町
創業:昭和7年10月
話し手:代表取締役社長 中村 靖富満

いまして、大手お菓子メーカーの偽装問題などをきっかけに、お菓子も「安心・安全が求められるようになりま

み、継続しています。■衛生管理のこだわりポイント
ルールを定めて適切に履行することで、安心・安全な商品をお届けしています。おのファクトリー



茶室と手焼き体験室の入る建屋

ニーズ変化にいち早く対応 お菓子の安心・安全を見える化

■業務内容
もみじ饅頭を中心とした和菓子のほか、洋菓子と和菓子を組み合わせたブランド「RAKU山田屋」で焼き菓子などの製造販売をしています。

また、今年からおのファクトリーの隣に茶室と、もみじ饅頭の手焼き体験室を設置しました。工場見学や手焼き体験などお楽しみ

みいただけます。■HACCPチャレンジのきっかけと取り組み
お客様のニーズの変化にいち早く答えようと考えたからです。昔は、「甘くて柔らかい」お土産菓子が好まれて

し、お客様に選んでいただけたお菓子として、安心・安全を見える化するために「広島県食品自主衛生管理認証(平成19年)」「HACCPチャレンジ(平成27年)」に取り組

には、品質管理室を設置し、自社で検査を行う体制をとっています。■消費者の皆さまへ
もみじ饅頭は、観光土産という視点で、リーズナブルに多くの方に、RAKU山田屋の

「インタビュー：高橋」
記事：馬場田

令和2年度末に処理期限

昭和52年以前の建物は再確認を PCB器具

昔、事業所や工場を営んでおり、現在は倉庫として使っている、使っていないが建物が残っているという方はいらっしゃいませんか。古い照明が残ったままの場合は今一度ご確認ください。

●照明器具の例●



使われている可能性があります。

広島県では、古い建物を所有している事業者の方などを対象に PCB を使用した安定器を所有されていないか調査を進めています。対象の事業者の方へ調査票の送付など実施していますので、必ずご回答いただきますようお願いいたします。

(広島県 産業廃棄物対策課)

【問い合わせ先】

広島県 産業廃棄物対策課
TEL: 082-513-2963

広島県 PCB調査

検索

「PCB を使用した照明器具の安定器」は、令和3年(2021年)3月31日までにすべて廃棄処分することが、法律で決められています。適正に廃棄処分を行わないと次のリスクを負うことになります。

- ①処分できなくなる
- ②改善命令・罰則の対象となる
- ③健康被害が出るおそれがある

PCB は、化学的に安定性を持つ一方、人体に有害で、環境中に残留する物質です。

私たちの身近なところでは、蛍光灯や水銀灯、ナトリウム灯などのちらつきを抑える安定器に利用されてきました。

PCB を使用した照明器具の安定器は、国内メーカーでは、昭和32年1月から昭和47年8月まで製造されていました。昭和51年(1977年)3月以前に建築された工場やビルなどの事業建物では、照明器具に PCB を使用した安定器が

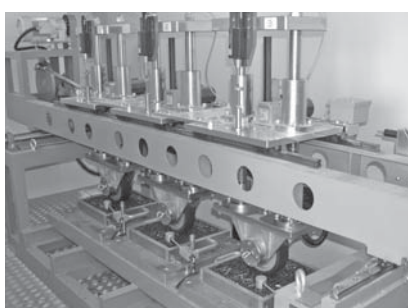
環境協の 環境生活 センター

⑫ 材料試験室

道路の安全性を確保

アスファルト試験で日常生活を守る

アスファルトの性状を調べる抽出試験機(上)、わだちについて調べるホイールトラッキング試験機(下)



⑥アスファルトに分かれており、多種多様な試験を実施しています。

今回は、⑥アスファルト試験の中でも、私たちの生活に欠かせない「道路」に関して紹介します。

アスファルト舗装で問題となるのは、「わだち掘れ」と呼ばれる車両が通過するときに起こる線状のくぼみや、温度差などによる「ひび割れ」などがあります。

これらは現場の条件にもよりますが、アスファルトの量や骨材の配合によって大きく影響を受けるため、適正な配合や品質管理が課題となっています。

材料試験室では、アスファルト混合物のアスファルト量や骨材の

る「アスファルト混合物事前審査制度」に活用されます。当協会は、この制度の指定試験機関となっております。広島県、山口県、島根県内のアスファルト業者を対象に上記の試験を行っています。

道路には次の3つの機能があります。歩行者、自動車などが通行するトラフィック機能、食料品や日用品などを運搬し、生活基盤の充実を図るアクセス機能、道路の地下に電気、ガス、水道などのライフラインの設置や災害時における延焼の拡大防止、避難経路などの空間機能があります。

昨年の西日本豪雨災害では、各地で道路が寸断され、多くの人々が日常生活に支障が生じたことは記憶に残っていると思います。

材料試験室では、このように品質の高いアスファルト混合物を作るための基礎データを提供し、道路の安全性確保に貢献しています。

(材料試験室 世波宏之)

瀬戸内海の保全施策と事例を紹介

10月にシリーズ5番目の冊子が発行

瀬戸内海環境保全協会(以下、「瀬戸協」といいます。)は、瀬戸内海の保全・創造に対する意識の高揚を図るため、瀬戸内海の水文化について広域的に情報をとりまとめ、住民にアピールする取り組みの一として「瀬戸内における水環境を基調とする海文化」に関してテーマごとにシリーズで発信しています。

このシリーズは、平成27年から「瀬戸内の



下蒲刈島(呉市)からみた風景

食文化」、「瀬戸内の伝統行事」、「瀬戸内の石の文化・塩の文化」、「瀬戸内の藻場・干潟と保全の取り組み」について全の取り組みについて冊子を発行し、ホームページでも公開してしました。これまでの内容の要旨は、本紙595号(2017年9月1日号)から600号(2018年7月1日号)で紹介しています。

では、瀬戸内海の自然公園、海水浴場などの親水空間、多島美・瀬戸、浜辺、特異な地形・地質といった多様な景観資源について、沿岸各県の情報をまとめています。そして、その変容について考察し、SDGsで示されている持続可能な自然との関係性の構築という視点から保全施策と取り組み事例を紹介しています。

今回のテーマに続いて、次回は「日々の生活に根ざした身近な景観と保全の取り組み」をテーマにとりまとめが進められる予定です。

(地域活動支援センター)



職員の健康増進のために

7月にはカッターレースへ参加

当協会では、健康経営に係る取り組みとして、職員の親睦も図りつつ、ウォーキングやリレーマラソンなど様々なスポーツイベントに参加しています。

2019年7月27日

(土)には、広島港外貿埠頭一号バースで開催された「第25回広島みなと祭カッターレース大会」に参加しました。

このカッターレース大会は、往復360メ

ートルのコースを船長、操舵手および漕手6名の計8名で漕走するタイムレースです。今年は36チームが参加し、当協会から2チーム(かんほきようA(エース)・かんほきようB(ブラック))が参加し



ゴールを目指して必死にオールを漕ぐ当協会職員

ました。メンバーは、若い職員から年配の職員まで総勢16名です。

練習不足が原因なのか、体力不足が原因なのか、結果は予選落ちとなりましたが、最後まであきらめることなく、一丸となって自力で完走し、タイムアップでえい航されてゴールした前回大会よりも大きな進歩がありました。

当日は暑い中、理事長、常務理事をはじめとして多くの職員が駆け付け、いつも以上に

話題の健康づくり

アラカルト

⑳ インフルエンザ



インフルエンザは例年12〜3月頃に流行しますが、今季はこれまでより早まり、例年より

早めのインフルエンザ対策が必要です。インフルエンザの主な感染経路は、咳やくしゃみによるひまつ感、口や鼻に触れることによる接触感染で

空気が乾燥すると、のどや鼻の粘膜の防御機能が下がります。外出時にはマスクをし、乾燥しやすい室内では加湿器などを使って適切な湿度(50〜60%)

ことがあり、高齢者、幼児、妊娠中の女性や持病がある方などは、特に注意が必要です。インフルエンザの予防として有効なのがワクチンの接種です。インフ

つ、合計4タイプのウイルスに対応しています。今季のワクチンは、B型の2タイプはそのままで、A型の2タイプは、いずれも新型インフルエンザ(2009年)と香港型がマイナーチェンジしたものです。

接種して効果が現れるまでに2週間、効果持続期間は約5カ月といわれます。ワクチンの効果持続期間が過ぎても効果がゼロになるわけはありませんので、流行がピークになる前に早めにインフルエンザワクチンを接種しましょう。

(健康増進課 品川祐子)

今期は早めの対策を

免疫力を高め、ワクチン接種で予防

す。予防で重要なのは、帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめにせっけんで手を洗うことです。手指にすり込むタイプのアルコール製剤も有効です。

を保ち、日頃から十分な睡眠とバランスの良い食事で免疫力を高めましょう。一般的な風邪と違って、インフルエンザが重症化すると、肺炎や脳炎などを合併する

ルエンザウイルスのA型とB型の感染力はとも強く、日本では毎年約1千万人、およそ10人に1人が感染しています。ワクチンは例年、A型とB型2タイプず

接種して効果が現れるまでに2週間、効果持続期間は約5カ月といわれます。ワクチンの効果持続期間が過ぎても効果がゼロになるわけはありませんので、流行がピークになる前に早めにインフルエンザワクチンを接種しましょう。

(健康増進課 品川祐子)

より良い健診のために 午前中お忙しい方にお勧め

健康クリニックは、2019年7月から午後ドックを始めました。

人間ドックを受けたいけれど、「午前中は仕事や家事で忙しくて時間が取れない」「家が遠いから朝が早い受診が難しい」「夜遅くまで仕事をしており朝早いのが苦手」とお困りだった方に、ぜひご利用いただきたいと考えています。

午後ドックは、受診受付時間が13時〜13時30分となり、午前中より受診者の方が少ないのでスムーズに、ゆったりと受診することができます。また、通常ドックと同様に子宮けいがん検査、乳腺マンモグラフィ検査などの婦人科検査も追加することが可能です。受診する際の食事に関する注意事項は、右表のとおりです。

午後ドックをご利用いただいた受診者から「検査の待ち時間が短かった」



⑳ 午後ドック

「午前中に仕事を済ませてから、来るのができた」などと好評です。

健康クリニックでは、午後ドックのほか、月1回のレディースデイ、年に1度の日曜ドックなど特色あるドックを運営し、これからも受診者の皆さまの要望にお応えできる健診施設を目指していきます。

(健康科学センター施設健診課)

【食事に関する注意事項】

- お食事は、検査の10時間前までに**飲酒を控えて軽めに**済まし、当日起床後のチューインガムやアメはご遠慮ください。
- お水、お茶は、**起床時150ml** 及び**検査の2時間前までに150ml** 程度であれば飲んでいただいても大丈夫です。
- 当日の起床後、降圧剤、痛み止めの服用は可能です。治療中の方は、服薬等について主治医とご相談ください。

広島県知事から

感謝状を拝受

当協会は、平成27年5月28日に、災害等で長期間断水が続く場合、地域住民の飲用水確保を目的に、市町の求めに応じて遊休井戸の水質検査を無償で実施する協定を広島県と締結しています。

昨年の平成30年7月豪雨災害で



感謝状を手にする田中健康福祉局長(右)と佐藤理事長(左)

は、県内全域で土砂災害や河川の氾濫が多数発生し、道路や鉄道の寸断、広範囲にわたる水道の断水など、生活や経済活動の基盤となる、あらゆるインフラに多大な被害が生じました。その際、この協定に基づき、広島県から要請を受け、広島県下の4市2町において遊休井戸の水質検査を491件実施し、水の確保に努めてまいりました。

今回、広島県知事から2019年8月28日に、被災者支援および被災地の復旧・復興に貢献した活動として、当協会へ感謝状が拝受されました。

当協会では、これからも「みんなの生命(いのち)をまもりたい。」の基本理念に基づき、健康づくりや環境づくりを支援する事業に取り組んでまいります。

フェイスブックで活動をPR

専門研修「広報ツールづくりコース」開催



スマホを手に使用方法を学習する参加者

「専門研修」は、公衆衛生推進委員や地球温暖化防止活動推進員の力量形成および専門的な知識・技術の習得の場として、市町・支部単位の役員や、事務担当者、活動リーダーを参加対象に、環保協が毎年テーマを変えて開催しています。

9月8日に、「広報・ツールづくりコース」Facebook記者養成編を開催し、2公衛協とTEAMから合計7名に参加いただきました。

この研修は、インターネットの中でも特にFacebookを活用した情報発信のノウハウ

ハウを、体験を通して習得する研修で、より広く、幅広い年齢層へ向け、鮮度のいい情報発信ができる記者の育成をねらいに実施しています。

午前中は、座学を中心とし、テレビや新聞で取り上げられる『炎上』など実例も交えて注意点を仕組みについて学びました。午後からは、ご自身のスマートフォンを利用して、Facebookに登録し、実際に記事を投稿することで、他人の投稿へ「いいね」や「シェア」などにより、情報が広まっていく様子を体験してもらいました。

当協会のフェイスブックに参加者の記事が投稿された。

参加者からは、「こーやって多くの人に読んでもらえるのか」「丁寧に伝えてもらうてよかった」「次は、写真にモザイクをかける方法を教えてほしい」など

この感想をいただきました。

これを機会に、地域の話題を新鮮なうちに投稿いただくことを願っています。

また、チラシやたよりなど紙媒体の広報について学ぶ従来の広報ツールづくりコースは2020年2月20日と21日に実施しますので、こちらもぜひご参加ください。

専門研修は、実践活動を行う際の基礎的な知識・技術を習得できるように、工夫して実施しています。本研修に参加して、公衛協やTEAMの活動の活性化に役立ててください。

第60回広島県公衆衛生大会

～健やかな暮らしをつくる人々の集い～

開催日時:令和元年11月21日(木) 10:30～15:00(閉会式)

開催場所:府中市文化センター

(府中市府川町70 Tel:0847-45-6000)

■大会式典(表彰式・大会宣言)

■環境と健康のポスター・標語コンクール優秀作品表彰・講評

■アトラクション

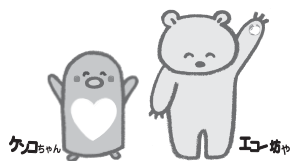
和太鼓 竹内孝志(太鼓ユニット「我流-garyu-」リーダー)

■講演 「私たちの暮らしと微小プラスチック

～瀬戸内海のおごみについて考える～(仮題)」

鹿児島大学特任教授 藤 枝 繁 先生

■1万人のエコチェック事業結果発表・おたのしみ抽選会

2019年度
地区衛生組織活動資金募集

通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金は、昭和35(1960)年から実施し、2019年度で60回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)



40,889,133円

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府 中 町	1,372,150	82.2
海 田 町	1,800,000	74.5
熊 野 町	1,426,200	98.8
坂 町	0	0.0
江 田 島 市	1,768,650	96.7
竹 原 市	0	0.0
大 崎 上 島 町	0	0.0
大 竹 市	2,319,440	91.9
廿 日 市 市	2,560,326	75.4
廿日市市大野	2,112,278	84.3
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	47,800	84.3
廿日市市宮島	189,600	98.2
安 芸 太 田 町	703,650	95.3

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北 広 島 町	749,400	69.1
安芸高田市	1,488,200	82.2
東 広 島 市	4,215,317	98.8
三 原 市	1,200,440	71.4
世 羅 町	532,400	62.0
尾 道 市	3,455,700	77.6
福 山 市	8,245,046	94.9
府 中 市	1,082,790	99.3
神石高原町	0	0.0
三 次 市	1,500,000	62.8
庄 原 市	137,400	5.7
呉 市	3,910,350	51.5
そ の 他	71,996	105.2
合 計	40,889,133	72.3

環保協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。

【健康づくり】

- 生活習慣病予防や健康づくりの推進
- 健康づくりのための教室・大会の実施
- ウォーキングの推進
- 子どもを対象とした健康啓発事業



公衛協ウォーキング事業

◆ウォーキング用 貸し出しグッズ◆

- ・ウォーキングPR用ベスト
- ・ウォーキングPR用腕章
- ・ロードカウンター
- ・誘導旗



※この表は、2019年9月末までに、市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。